

一般社団法人日本薬学生連盟 2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	本下 慧
立候補する役職	学術委員長
大学/学部/学科	城西国際大学薬学部医療薬学科
学年	3 年
所属	学術委員会、プロモーション部、関東支部本部
日本薬学生連盟での活動経歴	2018 年 学術委員会 所属 2019 年 プロモーション部、関東支部本部 所属
立候補動機	現在の学術委員会をより有意義なものであるようにしていきたいと感じた為
問題点と改善案	<p>学術委員会はオンライン企画が多いので、各々の人と密なコミュニケーションが行き届いていないので、時間がある際には自らが進んでアクションを起こして、所属しているメンバーがオフラインで企画を行う際に、円滑にそして有効的な時間を過ごす事ができるように改善する。</p> <p>そのためにまず、長期的な目で見た際のフィードバックや、続けて参加してくださっているスタッフの方に対して、コアメンバーとして活動してもらい、学術的な研究だけでなく、様々な事を学び成長していく。</p> <p>活動内容に関しての問題点としては今年度がオフラインでの企画しか実行できなかったため、今年度の活動を引継ぎ、さらに今年度の反省を踏まえ、新たに応用的な所に落としこんでいくのが賢明であると考えます。</p> <p>今年度企画したオンライン企画、薬学の新研究、研究班「歴史班」「精神疾患班」、プレゼン大会以上の企画のうち、研究班に関して、来年度は外部団体で発表をできる形を取りたいと考えています。</p> <p>新研究は現状、各自での作業が続いているので、アウトプットの作業を少しずつ増やしていこうと考えています。</p> <p>プレゼン大会は、プレゼン力向上を目標に活動していたが、それを日常生活に応用できるように、コミュニケーション力向上講座「話し方の講義」について行う。</p>
活動計画	<p>4月、5月 新入生に対する委員会紹介</p> <p>6月、7月、8月 研究班での活動等の各自での活動(新入生にも動きやすくする)</p> <p>夏休み中 夏季オフライン合宿(2日間)</p> <p>10月、11月 研究班での活動等の各自での活動(翌年度に向けた発展的な事も行う)</p> <p>12月、1月 年会準備</p> <p>2月中 冬期オフライン合宿(2日間)</p> <p>3月 年会</p>
所信	<p>この度選挙に出馬するに当たって皆様にお伝えしたい事がございます。私は今までの学術委員会というものを自分色に変えるのではなく、臨機応変に活動できるようにシフトチェンジをするという事を考えているという事です。改善点でも述べましたが、当団体の委員会活動は全国各地の学生が在籍している為、オフラインイベントがなかなか開催できない事もあり、時間を有効利用し委員会の所属しているメンバーと密にコミュニケーションを取り、新たに参加してくれるメンバーにも委員長だけでなく、全メンバーがコミュニケーションをとる事ができるような環境にしていく事も重要であると思います。</p> <p>また私自身もですが、当団体の活動以外に大学での活動等を行っている学生がおります。その為、全員がやりたい事をできるような環境作りもしていくべきだと考えています。その為に、自分が矢面に立ち、しっかりと話し合いを行い、円滑に活動する為に改善を行いたいと考えています。</p> <p>私は新たな事を行う際に考えている事があります。それは「しんどかった」と言えるぐらいまで頑張りたいという事です。これは私が尊敬する野球選手、星野仙一さんが暗黒時代と言われた阪神を18年ぶりに優勝した際に語った言葉になります。しんどかったということはそれだけ好きなことに熱中して活動し、そして最高の結果を残した時に言えると思いますので、そこに向かう事ができるように行っていきたいと考えています。</p>